

文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属	保健衛生部生活衛生課			
問合せ先	03	-	5803	- 1223

6年度調査

1 補助金の名称等

補 助 金 の 名 称	公衆浴場内ペンキ塗替え等補助金									
根 拠 規 定 等	文京区公衆浴場内ペンキ塗替え等補助金交付要綱									
創 設 年 月	平成	4	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	32年	終 了 予 定 年 月		
見 直 し 年 月	平成	29	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	7年			
見 直 し の 内 容	レジオネラ属菌発生防止対策のための配管及び貯水槽等の薬品洗浄経費の一部の補助を追加した(要綱第4条及び第5条)									
予 算 科 目	款	項		目		大事業		中事業		計画事業番号
	06 衛生費	01 保健衛生費		01 保健衛生総務費		06 公衆浴場補助等		02 施設整備費等補助		
補 助 金 の 種 別	☐ 奨励的補助 ☐ 施設運営補助 ☐ 扶助的補助 ☒ 投資的補助 ☐ 利子補給									

2 補助金の概要

補助目的	公衆浴場内のペンキ塗替え等に必要な費用を補助することによって、区内公衆浴場の転業又は廃業を防止し、もって区民の保健衛生の向上並びに公衆浴場経営の安定及び振興を図ることを目的とする。					
補助事業等の内容	(1)浴室内の塗装 (2)浴室内の壁面、床、浴槽のタイル、配管、貯水槽、調節箱及び鏡面の洗浄 (3)浴室内の背景画の塗替え					
補助対象経費の内容	補助対象経費に要する経費及び額とし、上限額は下記に挙げる区分とする。 (1)浴室内の塗装経費 15万円 (2)浴室内の壁面、床、浴槽のタイル、配管、貯水槽、調節箱及び鏡面の洗浄経費 15万円 (3)浴室内の背景画の塗替え経費 5万円					
補助事業者等	☐ 区民 ☐ 地域活動団体 ☐ NPO(特定非営利活動団体) ☒ 事業者 ☐ その他					
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕 文京区内事業実施公衆浴場					
補助金の算出	☐ 定率〔補助率 〕 ☐ 定額〔補助額 〕					
	☐ 補助単価〔補助単価 単位 〕 ☒ その他					
	〔その他の場合は具体的に記入〕 補助対象経費の内容参照 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕					
公募の状況						
実績報告書時における用途の確認方法	☒ 領収書 ☐ 契約書 ☐ 決算書 ☐ 成果物 ☒ その他〔工事完了後の写真及び現地確認〕					
補助・単独の状況	☒ 区単独	負担割合	区	国	都	補助対象者
	☐ 補助(区上乗せ無し) ☐ 補助(区上乗せ有り)	上乗せの内容・理由				

3 交付実績

(件、千円)

項目	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(予算)
交付(見込み)件数	2	4	6	8
決算(予算)額	290	850	858	1,000
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
一般財源	290	850	858	1,000
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	公衆浴場内のペンキ塗替え等への費用補助により、毎年度一定規模の洗浄や背景画等の塗装を確実に行うことができる。
課題	公衆浴場利用者の年齢層・利用頻度の拡充、公衆浴場施設各種設備の劣化・老朽化対策、安全管理・衛生環境維持費用の高騰化への対策。
今後の方向性	浴室内の塗装、浴室内の壁面、床、浴槽のタイル、配管、貯水槽、調節箱及び鏡面の洗浄により、公衆浴場の良好な衛生環境を維持管理していくため、今後も公衆浴場内ペンキ塗替え等補助事業を継続する。